

河川整備計画のスケジュールについて

高規格堤防事業の見直し作業について

行政刷新会議「事業仕分け」における内容

H22年10月28日

WGの評価結果

(2)スーパー堤防事業

事業廃止

事業廃止 9名

内容の見直しを行う 1名

予算要求の圧縮 1名(～30% 1名)

(注:重複あり)

とりまとめ内容

(2)スーパー堤防事業

現実的な天災害に備える視点に立ち入り、治水の順位を明確にした上で、事業としては一旦廃止とすること。

高規格堤防事業の見直し作業について

平成23年度 河川局関係予算決定概要(平成22年12月)における記述内容

スーパー堤防事業について

抜粋

平成24年度概算要求までに事業スキームの抜本的見直しを行い、平成24年度予算に反映することとし、平成23年度においては、以下の場合を除き、予算措置しない。

- ・実施計画策定時までに、現在、実施中の箇所のうち、中止した場合に土地所有者や住民等の社会経済活動に重大な支障を及ぼすものに限り、土地所有者等の関係者の意見を聴取するとともに、事業評価監視委員会に諮った上で、必要最低限の措置を行う場合。

大和川水系河川整備計画原案(たたき台)における記述内容

(3)超過洪水対策 抜粋

高規格堤防は、計画高水位を越える洪水や堤防を越水する洪水に対する安全性を高めるものである。高規格堤防の整備区間は表4.6とし、整備に当たっては、淀川と大和川に挟まれた政令指定都市である**大阪市の中核部及び堺市の中核部を防御する堤防の区間を重点整備区間とし、実施に向けて調整を進める。**

現在整備中の高速道路大和川線地区、常磐地区、天美西地区、JR阪和貨物線地区、大正地区においては、「大和川沿川整備協議会」で十分協議調整し、整備を行う。

なお、**重点区間以外の区間においても**、連続堤防としての機能を確保するため、まちづくり事業等と併せて早期の事業着手を目指し、**合意の得られた地区から事業を実施する**等、引き続き関係機関と十分調整する。整備にあたっては、河川改修により発生した残土や他事業からの発生土砂等を有効に活用し、コスト発現を図る。

現在整備中の地区については、「大和川沿川整備協議会」において調整して、道路事業やまちづくり事業等と一体整備事業の可能性について関係者と協議し了解の得られた所となっている。

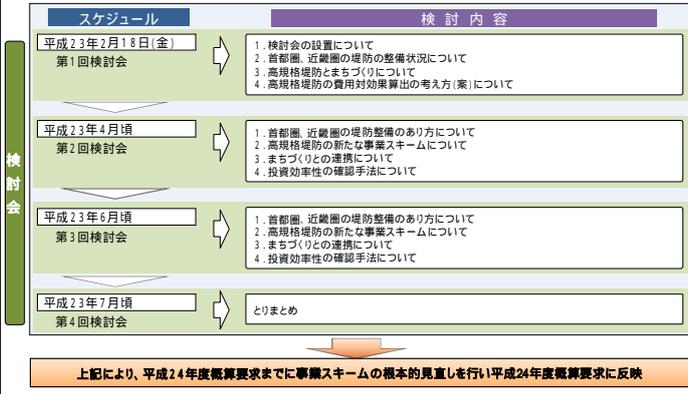
高規格堤防事業の見直し作業について

各高規格堤防事業実施地区の内訳

	地区名	平成23年度 予算措置	平成24年度以降
事業中	阪高大和川線（一体整備）地区	地権者等事業関係者の意見聴取 + 事業評価監視委員会の了解	「高規格堤防の見直しに関する 検討会」にて方針決定
	阪高大和川線（常盤）地区	予算措置していない	
	JR阪和貨物線地区		
	天見西地区		
	大正地区		
大井地区			
未着手	重点整備区間内の地区	×	
未着手	それ以外の地区	×	

高規格堤防の見直しに関する検討会のスケジュール及び検討内容

高規格堤防の見直しに関する事項（首都圏、近畿圏の堤防整備のあり方の検討、高規格堤防の整備区間、コスト削減策、投資効率性の確認手法等）について、以下のスケジュールで審議・検討を実施



高規格堤防の見直しに関する検討委員会

- 座長
(敬称略、五十音順)
- おおの えいじ 名城大学都市情報学部教授
 - しみず よしひこ 群馬大学大学院工学研究科教授
 - たの ひろかず 京都大学防災研究所社会防災研究部門教授
 - つじもと てつろう 名古屋大学大学院工学研究科教授
 - なかがわ はじめ 京都大学防災研究所大気・水グループ
流域災害研究センター教授
 - みやむら ただし 関東学院大学名誉教授

河川整備計画のスケジュールについて

注：本スケジュールは現時点での目安であり、審議の状況等に応じて大幅に変更する可能性があります。

	平成22年度			平成23年度						
	2月	3月	4月～7月	8月～12月						
整備計画	流域委員会	たき台への 意見聴取	第20回	第21回	第22回	第23回				
	関係機関									
	住民									
高規格堤防事業 に関する検討	高規格堤防の見直しに 関する検討会									

大和川水系河川整備計画（原案）の策定・公表

大和川水系河川整備計画（案）の策定・公表

知事等意見聴取

公聴会等意見聴取

公聴会
[大和郡山市・王寺町・
相原市・堺市]

住民意見聴取の
反映結果の報告